

みずほCustomer Desk Report 2018/03/28 号(As of 2018/03/27)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	105.65
TKY 9:00AM	105.55	1.2457	131.47	1.4236	0.7755
SYD-NY High	105.91	1.2476	131.82	1.4244	0.7758
SYD-NY Low	105.32	1.2372	130.59	1.4066	0.7676
NY 5:00 PM	105.34	1.2403	130.72	1.4157	0.7678
NY DOW	23,857.71	▲ 344.89	日本2年債	-0.1500	1.00bp
NASDAQ	7,008.81	▲ 211.74	日本10年債	0.0300	1.00bp
S&P	2,612.62	▲ 45.93	米国2年債	2.2681	▲ 0.44bp
日経平均	21,317.32	551.22	米国5年債	2.5696	▲ 6.97bp
TOPIX	1,717.13	45.81	米国10年債	2.7744	▲ 7.67bp
シゴ日経先物	20,780	55.00	独10年債	0.5005	▲ 2.00bp
ロンドンFT	6,999.88	111.19	英10年債	1.4175	▲ 2.05bp
DAX	11,970.83	183.57	豪10年債	2.6595	1.15bp
ハンセン指数	30,790.83	242.06	USDJPY 1M Vol	7.90	0.05%
上海総合	3,166.65	32.93	USDJPY 3M Vol	8.36	0.07%
NY金	1,353.20	▲ 1.80	USDJPY 6M Vol	8.60	0.10%
WTI	65.65	0.10	USDJPY 1M 25RR	-1.10	Yen Call Over
CRB指数	195.57	▲ 0.21	EURJPY 3M Vol	8.73	0.08%
ドルインデックス	89.33	0.30	EURJPY 6M Vol	8.99	0.04%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月27日	18:00	欧 消費者信頼感指数(確報)	3月 0.1	0.1
	23:00	米 リッチモンド連銀製造業指数	3月 15	22
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感指数	3月 127.7	131.0
	23:00	米 ロス米商務長官「外国からの投資に制限が設けられるだろう」		

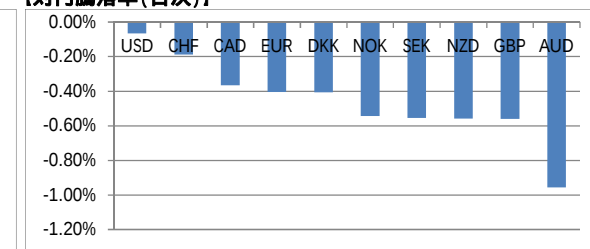
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月28日	21:30	米 GDP確報値(年率/前期比)	4Q 2.7%	2.5%
	21:30	米 個人消費	4Q 3.8%	3.8%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	4Q 1.9%	1.9%
3月29日	1:00	米 ポスティブ・アトランタ連銀総裁講演	-	-
	2:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.00 - 106.00	1.2370 - 1.2470	130.30 - 131.30

【マーケットインプレッション】

海外時間では期末・月末要因でドルが上昇。しかし対円では、フェイスブックショックの影響が残存する米株が下落した一方で債券は上昇し金利低下となったことから、株下落のリスクオフと日米金利差縮小の両面で円が若干買い戻されドルは105円の後半から売り戻された。本日も期末・月末要因に振られトレンドを見出しにくい相場となる。

東京	東京時間のドル円は105.55レベルでオープン。日本時間9時半頃より始まった参院予算委員会での佐川前国税庁長官の証人喚問では、文書改ざんは「理財局の中で行われた」と安倍首相や麻生財務相ら政治家の関与を繰り返し否定。特段のサプライズが無かった上、米中貿易戦争への懸念後退も意識され、前日以降の円売り優勢地合いが継続しドル円は一時105.75まで上値を伸ばす。午後の衆院予算会での佐川氏の証人喚問においても相場に影響を与える発言等はなく、105円台半ばで方向感なく推移し、105.60レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.60でオープン。米中間の通商協議により両国の貿易戦争を回避できるとの見方から、105.79まで上昇。105.78レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.2453でオープン。リアア中銀総裁が、来年上期のECB利上げ予想について「違和感ない」と発言し、オーストリア中銀総裁も、夏にも債券買い入れの削減が決定されることを示唆する等、ECBのタカ派的な発言が目立ったが、イースター休暇前のポジション調整でユーロ売りが優勢となり、1.2391レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は105.78レベルでNYオープン。朝方一時105.91まで上昇する局面が見られたが、「日米商務長官:米政府、中国の対米投資制限を発表へ」とのヘッドラインに反応し、105円台半ばまで下落。米3月消費者信頼感指数は3ヶ月ぶりの低下となり、予想比下振れしたものの、引き続き高水準で推移していることから、消費者マインドは依然良好と受け止められ、105.80まで上昇。しかし、週後半は休場となる市場も多く、月末・期末要因に伴うドルもあり米金利が低下すると、ドル円も再び下落基調に。米長期金利が2.80%を下げ6週間ぶりの水準まで低下したことや、テクノロジー株主導でマイケル・バレンの米株なども重石となり、ドル円は105.32まで下落し、105.34レベルでクローズ。なお、日系メディアは北朝鮮関係者情報として「米朝首脳会談に備え、北朝鮮が核実験部隊の半減を指示した」と報道した。一方、1.2391レベルでNYオープンしたユーロドルは、ドル買い需要に圧され、朝方1.2372まで下落したが、米金利低下を背景とするドル売りの強まりに1.2416まで上昇し、1.2403レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:加藤・森谷